ハイパーセル
Hyper Cell
NETIS-HK-200013-A

背面排水工　擁壁工指針（H24版）

第4章　設計に関する一般事項　　4-1　基本方針

4-1-2　想定する作用

擁壁の設計に当たって想定する作用は、以下に示すものを基本とする。

（1）常時の作用

（2）降雨の作用

（3）地震動の作用

（4）その他

-略-

（2）　降雨の作用

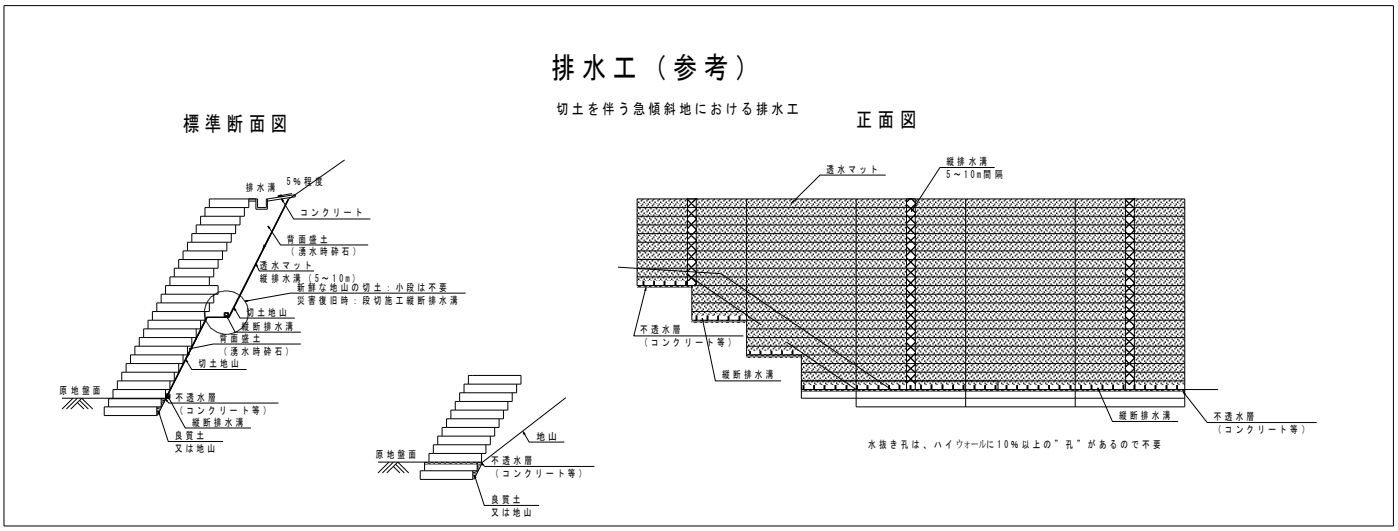
降雨の作用は、擁壁の安定性、排水工の設計で考慮する。

擁壁の安定性の照査において想定する降雨の作用については、地域の降水特性、擁壁の立地条件

路線の重要度等を鑑み適切に考慮する。

上記　基本方針に基づき**通常（一般）平面排水を計画し、積算**に反映する。

地域によっては、**別途設計した排水計画**が必要です。



積算基準マニュアル　から引用

単価2－2 背面排水工（吸出し防止全面設置工）			単位	日	割戻数量	10.0	積算基準マニュアル
名称	規格		単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員			人	0.10			吸出し防止;0.06+縦排水;0.04
吸出し防止材			m2	11.2			ロス率＝12.0%
縦排水			m	2.2			
諸雑費			式	1			
計							
単価							直m2当たり
勾配補正	1:0.50	1.12					斜m2当たり

ただし各単価は参照。